



新年ごあいさつ

(一社) 広島県指定自動車学校協会

会 長 新原 靖

新年明けましておめでとうございます。

旧年中皆様方には、当協会の運営に多大なご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。また、コロナ禍といわれる特殊な環境の中、引き続き優良な初心運転者の育成、地域の交通安全教育センターとしての役割を果たしていただいておりますことに対し、重ねて感謝申し上げます。

令和2年は、世界中を巻き込んだ新型コロナウイルスの感染拡大による、いわゆるコロナ禍に振り回された1年となりました。

4月に政府より発出された「緊急事態宣言」により、指定自動車教習所は大学や学習塾と同様に休業要請の指定対象業種となり、全国的には自主的な休業を含め50日に及ぶ休業を余儀なくされた地域もありました。

広島県においては、感染拡大傾向の早い段階から、各校所において感染防止対策を講じていただき、これらを事務局において取りまとめて各校所にフィードバックしました。休業要請指定期日の早期解除を県知事に要望した際にも、これらの取り組みと県警本部関係者各位のご尽力により休業要請が早期に解除されました。あらためて皆様のご協力と各校所における真摯な取組に感謝いたします。しかしながら、新型コロナウイルス感染は決して収束したわけではなく、本稿を起草している時点では、北海道や大阪などを始め感染拡大の兆しが懸念されています。本年も引き続き、油断することなく感染防止、クラスター発生の防止に努めていただきますようお願いいたします。

9月には、安倍前総理が体調不良により突如

退任し、菅政権へと移行しました。菅総理は行政のデジタル化推進を標榜し、その中で免許証のデジタル化を表明しました。具体的に何がどう影響するかはまだわかりませんが、注意深く経緯を見守る必要がありそうです。

広島県の指定自動車学校協会は K-net の活用を始め IT 化が進んでいますし、昨年コロナ対策の一環として、全国に先駆けて職員法定講習の一部をオンラインで実施しました。本年も適不適を慎重に判断し、行政当局のご理解を得ながらデジタル化を進めていく所存です。

また、昨年6月に道路交通法が改正されたことにより、来年には高齢者講習の制度が大きく変わります。現在下位法令の整備等が進められているところではありますが、これらに係る情報をできるだけ早く各校所に伝達し、スムーズに移行できるよう努めてまいります。

本年は指定自動車教習所を取り巻く環境がどのように変化するのか、例年以上にわかりにくい状況になっておりますが、交通安全を通して地域社会に貢献するという指定自動車教習所が果たすべき役割は普遍的なものであると考えます。行政関係機関、その他関係団体と引き続き強力で連携し、広島県指定自動車学校協会会員各校所がその役割を果たせるように、また指定自動車学校協会の更なる発展に寄与できるよう引き続き努めてまいります。

皆様のご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

